

住宅・建築 SDGs フォーラム 第 23 回シンポジウム 脱炭素化に向けた既存住宅改修の加速 – 現状と課題

日 時 2024 年 4 月 23 日 (火) 14 : 00-17 : 00

開催方法 Zoom によるウェビナー方式

主 催 住宅・建築 SDGs フォーラム
一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECs)

共 催 一般社団法人 日本サステナブル建築協会

参加費 無料 **定 員** 500 名

IPCC 気候危機が深刻化する中、1.5℃目標達成を目指して、さらに対策を強化することが求められています。建築分野の脱炭素化については、建築省エネルギー基準の適合義務拡大や、エネルギー性能表示の努力義務など、新築建築物を中心とした政策が展開されています。しかし、膨大な既存建築ストックについては、対策に大きな進展がみられません。2030 年まであと 6 年、既存建築物の省エネルギー改修・エネルギー転換を、今から一層推進していく必要があります。

そこで、本シンポジウムでは、既存建築物のうち住宅の改修の加速をテーマに取り上げました。住宅改修について、多岐にわたる効果やライフサイクル上の意味を捉えたいうえで、国や地方自治体による現在の政策や今後の方向性を何うとともに、欧州での改修義務化といった先進的施策に視野を広げていきたいと思ひます。また住宅メーカーや工務店による様々なプロジェクトなど、各方面で動き始めた既存住宅改修への取組を紹介いたします。現在の課題を捉えつつ、今後の対策の加速にむけて議論したいと思ひます。

プログラム ※今後変更することがあります

総合司会 吉野 博 東北大学名誉教授
西田裕子 公益財団法人 自然エネルギー財団 気候変動グループ シニアマネージャー

開会挨拶 14 : 00~14 : 05
村上 周三 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター 理事長

基調講演 14 : 05~14 : 55 (各 25 分)
1. 脱炭素化に向けた既存住宅対策について
前田 亮 国土交通省住宅局参事官 (建築企画担当)
2. 欧州における既存住宅対策の伸展
宮森 剛 OECD (経済協力開発機構) サステナブル建築プログラムマネージャー

話題提供 14 : 55~16 : 10 (各 15 分)
1. 住宅改修がもたらすコベネフィット 伊香賀俊治 (慶應義塾大学教授)
2. ハウスメーカーによる既存改修への取組 北村禎夫 (積水ハウス株式会社リフォーム商品開発部長)
3. 工務店の既存住宅改修への取組 新谷孝秀 (株式会社アルティザン建築工房 代表・
日本住宅リフォーム産業協会)
4. マンション省エネ改修の現状と課題、施策動向 山口大助 (東京都住宅政策本部民間住宅部
マンション課長)
5. 既存住宅の LCCM 改修 清家 剛 (東京大学大学院教授)

**パネリス
ティスカッ
ション** 16 : 10~17 : 00 (50 分)
テーマ : 既存住宅改修の加速に向けて何が必要か
司会 : 清家 剛 (前出)
パネリスト : 基調講演者 + 話題提供者

閉 会 17:00

お申込み 下記 URL よりお申し込み下さい。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_DnkAdm_WSG6wJS6RwmmT1Q

問合せ先 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECs) 住宅・建築 SDGs フォーラム事務局
電話 : 03-5213-4191 (平日 10:00~17:00)
メールアドレス : sdgsforum@ibecs.or.jp